

知り合いの人妻 vol.2

午後の浴室



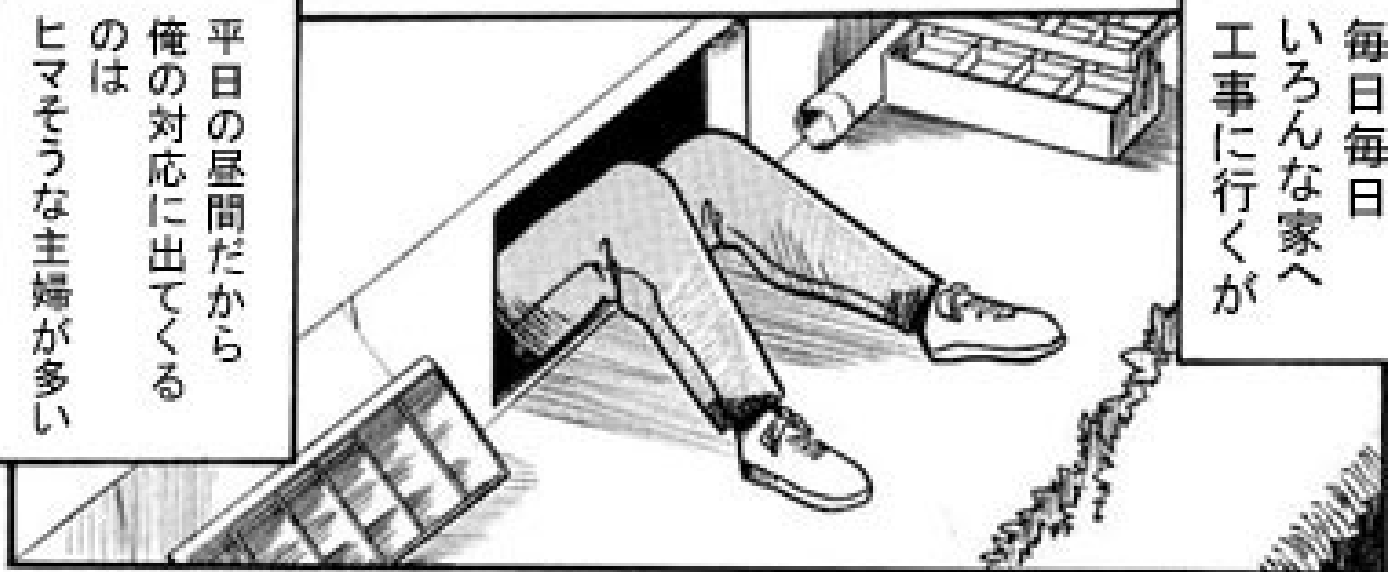
烏賊松

俺は
排水管の工事会社で
働いている



毎日毎日
いろんな家へ
工事に行くが

平日の昼間だから
俺の対応に出てくる
のは
ヒマそうな主婦が多い



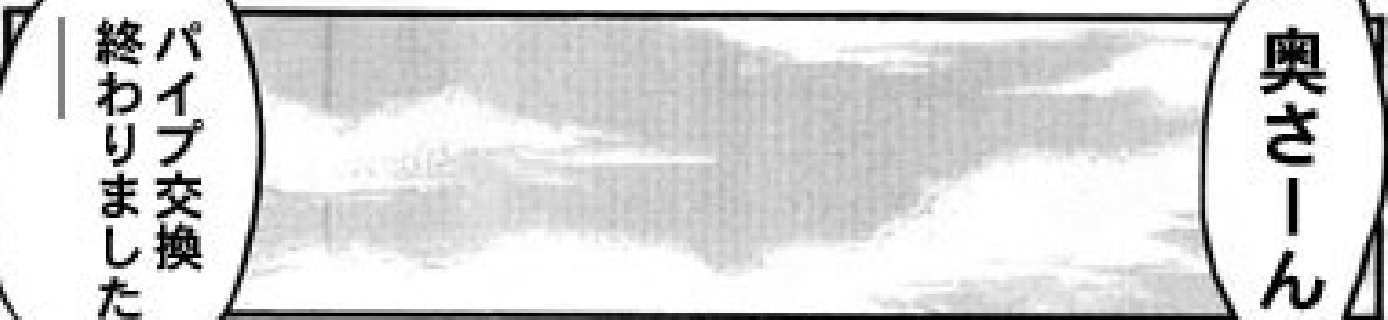
中には旦那と
ケンタイキに入り

物欲しそうな
目で俺を
見つめる人妻
なんかも
いたりするワケで…



奥さーん

パイプ交換
終わりました



どうも
ありがとうございます
ごさいました



これで水漏れは
止まりました
けど

もしまた
すぐ再発する
ようだったら
お電話ください



それじゃ
この書類に
ハンコかサイン

いただけます？



あ…
あの…

何か…？



ずいぶん
汚れちゃった
のね…

何か冷たい物でも
用意しますから

その間に
シャワーを
浴びていて
下さいね♥

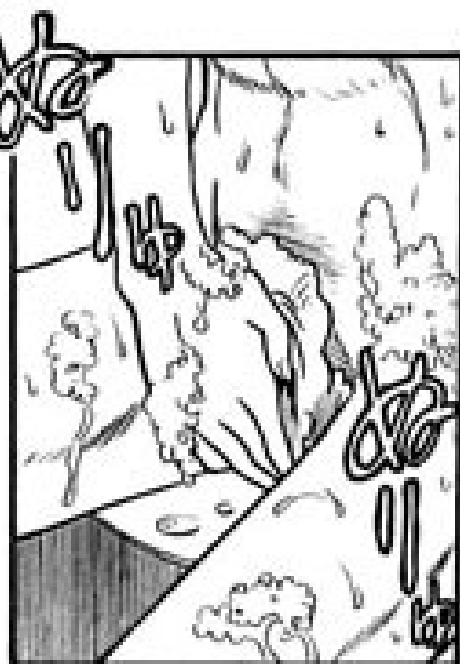
え…

あ…













俺のチン〇を
咥えた奥さんの

いやらしく
垂れ下がった
胸を見ていたら



あつという間に
インしてしまった
.....



そこまで言われて
黙ってられる程
俺は理性的じゃ
ない

俺は一気に
奥さんのカラダに
むしやがりついた

割れ目に
指を這わせると
すでにヌルヌル
状態だった

オ○コや
ア○ルを舌で
突いてやると

奥さんは
狂ったように
お尻を振って
悶えまくる

風呂場にい
やらしい音を
響かせながら

バックで
激しく
攻めてやった



奥さんは
よほど男に
飢えていた
ようで



カラダ中を
よじって
喜んでいる



俺みたいなの
行きずりの男を
誘うなんて...



女も
歳をとると
実に大胆になる
モノだ...

